

# 大田区立雪谷小学校ワークショップ報告書②

2025年（令和7年）11月  
発行：大田区教育委員会

雪谷小学校の改築計画を進めるにあたり、より多くの方々と改築コンセプトへの理解を深めることを目的として、PTA委員と改築懇談会のメンバーにご参加いただき、ワークショップを開催しました。当日は3つのグループに分かれ、新しい雪谷小学校についてアイデアを出し合い、情報を共有しました。

## プログラム

- ・ 大田区より
- ・ 内容の説明
- ・ 児童WS報告
- ・ 休憩タイム
- ・ みんなで“新しい雪谷小”を考えよう
- ・まとめ
- ・ 校長先生より

実施日時：令和7年10月11日（土）

14時00分から15時30分

場所：雪谷小学校 家庭科室



## ワークショップのテーマ

## 「“新しい雪谷小”のかたちを施設コンセプトをもとに、みんなで考えよう」

### 1 「図書室を中心とした、新たな知識との出会いの場」

①こどもたちが「また来たい！」と思う図書室って？②学校のどこに図書室があるといいか？  
③本を読む時間を楽しくするには？という3つの視点から意見交換を行いました。

#### A班

①

気軽に出入りができる

②

2階以上見晴らし

③

くつをぬいで絨毯ぱり

#### B班

窓が多くて明るい環境

香川沿いの外が見える場所

放課後も図書室にいられる

明るくて居心地がいい

学校の入口の近く

郷土資料がある

#### C班

くつろげる場所

1階から3階までつながっている

2階にわたって図書館

自分に合う本を見つける

ながめの良い場所

天気の良い日は外でもよめる

などのご意見を頂きました。



## 2

## 「仲間との絆を深め、地域とつながる広々した空間」

①地域の方とこども達が自然に交流できる学校にするには？②避難時に安心して避難できる学校とは？という2つの視点から意見交換を行いました。

## A班

## B班

## C班

①

地域のイベントが開催できる空間

桜があるベンチでやすめる

地域のコミュニティースペース

体育館の下にピロティー

集会室

活動が見える

②

浸水しない校舎

2階が避難所

丈夫な校舎

災害時に地域の中心となる

体育館は外から直接入れる

バリアフリーな環境

などのご意見を頂きました。

## 3

## グループ発表

各グループで話し合った内容をもとに、新しい雪谷小の校舎内のレイアウトを作成していただきました。その後、テーマ1「図書室を中心とした、新たな知識との出会いの場」について各グループから発表を行いました。

## A班



- 2階か3階の呑川沿いが良い
- 1階だと騒がしくなったときに管理諸室との関係が難しそう
- 可動式間仕切で自由に空間が作れるといい

## B班

- 1階から4階まで図書室があり、螺旋階段でつながっているといい
- 視聴覚室で映像を見たり、郷土資料などが見れると良い
- 和室でごろごろと寝ながら本を読めるといい



## C班



- 図書室内に専用の階段があり上下階につながりがほしい
- 3、4階で吹抜けになっておりトップライトで採光を確保したい
- テラスがあると良い

## まとめ

PTA委員と改築懇談会のメンバーから多くのアイデアをいただきました。特に図書室については、「呑川沿いに面した配置にしてほしい」「吹抜けのある空間にしてほしい」など、具体的なご意見を多数いただきました。

今後は、いただいたご意見を設計に反映させるとともに、進捗状況を報告する機会を設け、引き続き皆様のご意見を伺いながら改築計画を進めてまいります。



ご参加してくださった皆さん

ご不明な点やご意見については、下記担当までご連絡ください。

問合せ先：大田区教育委員会事務局 教育総務課 施設担当

TEL : 03-5744-1399

mail : k-shisetsu@city.ota.tokyo.jp